

令和元年度 草津市自立支援協議会の取組み

1 定例会議開催状況

開催回	開催日	構成機関数	出席機関数	出席者数
第 68 回	令和元年 7 月 22 日	102	41	49
第 69 回	令和元年 9 月 25 日 (研修会)	102	42	56
第 70 回	令和元年 11 月 28 日	102	42	48
第 71 回	令和 2 年 3 月 19 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催の中止		

2 全体会議開催状況

開催回	開催日	構成機関数	出席機関数	出席者数
第 67 回	令和元年 5 月 21 日	102	53	60

3 定例会・研修会の内容

令和元年度	テーマ	内容
7 月 22 日	(1)地域生活支援拠点の整備事業についてと整備にあたって求められる必要な 5 つの機能 (①相談、②緊急時の受け入れ対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり) (2) 取り組みの話題提供 (3) グループワーク	前年度から取り組んできた、地域生活支援拠点の整備事業について、草津市障害福祉課より草津市の方向性と進捗状況について報告した。草津市としては面的整備を進める予定。湖南圏域についても同様の状況。 必要な 5 つの機能のうちの 3 つについて、実践報告を受け、面的整備を進めるためにグループワークを行った。
9 月 25 日 (研修会)	みんなが暮らしやすい街づくり 市民を含めての啓発研修講演 【テーマ】 「障害のある人もない人も当たり前につながるあえる社会を目指して」 講師：まちかどプロジェクト 人権講師 片岡博氏	・当事者の立場でご自身が歩んでこられた様々なエピソードを伺いながら、すべての人々が自分らしい人生を送ること、人権を尊重しあうことの大切さを学んだ。 自分の生き立ち、差別と向き合うようになったきっかけ、障害者運動との出会い、自立生活、現在の生活等。 ・グループワークのテーマ 「障害のある人が、地域で自立して生活することの現状について感じたこと」
11 月 28 日	講演と防災シュミレーションゲーム 「クロスロード」 【テーマ】「風水害に備えて」 草津市総合政策課 危機管理課 上田圭志氏	(1) 風水害への備え (2) 避難確保計画の作成に向けて (3) クロスロード～あなたならどうする？～
3 月 19 日		中止

4. 部会・検討会議

草津市障害児（者）自立支援協議会では、部会・検討会を平成29年度から2つの部会が3年目となった。



(1) 相談支援部会 開催時間【13:30～15:30】

構成機関：市内の指定特定相談支援事業所（児童・成人）、地域生活支援センター風、草津市発達支援センター、滋賀県自立支援協議会、草津市障害福祉課、草津市立障害者福祉センター

	具体的な検討事項	日時	人数
○全体会 相談支援事業 全体の課題の 共有と全体の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●顔合わせ ●今年度の方向性 ・開催日程の確認 ●部会長・副部会長の選任 ○相談支援事業の現状と課題について意見交換 ●事前アンケートにより草津市の基幹相談支援センターに求める機能（障害福祉課） 	①7月3日（水） ⑨3月4日（水）（中止）	16人 なし
○相談体制検討・計画相談、一般相談の利用者に対する適切な対応のための体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：先進地域の相談支援事業所 大津市やまびこ総合支援センター ・「飽和状態に対する計画相談、一般相談の速やかな体制の検討」お話しと意見交換 ●事例検討（ピカジップ法）「今後の支援に困っている事例の支援について」 ●資源開発・地域生活支援拠点等整備事業に関するグループワーク 	②8月7日（水） ③9月4日（水） ④10月2日（水）	16人 16人 13人
○精神障害分野別検討	<ul style="list-style-type: none"> ●実践報告 地域生活支援センター風 「支援センター風での日頃の支援をとおして精神障害者の支援について考える」 終了後グループワーク ●実践報告 草津市精神障害者家族会ひまわりの会 「家族会の活動、当事者・家族の思い、家族のリカバリーストーリー、支援者に伝えたいこと」 終了後グループワーク 	⑤11月6日（水） ⑥ 12月4日（水）	10人 10人
○介護保険移行検討	<ul style="list-style-type: none"> ●障害高齢者のスムーズな介護保険への移行と課題 ・事前アンケートによる課題への対応 ・他市の取り組みの紹介 ・移行に関する流れの説明（障害福祉課） 	⑦1月8日（水） ⑧2月5日（水） 年2回	11人 9人

	<p>●実践報告</p> <p>草津市玉川地域包括支援センター 「スムーズな介護保険への意向に関する課題の共有と、介護保険制度の理解を深める」</p>		
--	---	--	--

(2)こども支援部会

■令和元年度草津市障害児（者）自立支援協議会 子ども支援部会報告

NO	開催日時	出席者	検討事項	結果
	令和元年 9月18日	小児保健医療センター、県自立支援協議会、びわこ学園、よつば訪問看護、済生会訪問看護、ちょこらんど、あおぞら、障害者福祉センター、草津養護学校、草津保健所、子育て相談センター、幼児課、児童生徒支援課、障害福祉課、発達支援センター	・市内の医療的ケア児の人数や所属の調査	<p>1. 草津市の医療的ケアの現状について</p> <p>●市より、園所、学校、子育て相談センター等に人数や年齢等を調査。</p> <p>市内43名。(在宅15、保育所等4、小学校5、中学校0、草津養護19)。食事、排泄、入浴、移動は9割の方が全介助必要。医療的ケアの内容は、人工呼吸器、気管切開、吸引、吸入、経管栄養等</p> <p>●入浴の資源が不足。児童発達や放課後等デイの事業所で入浴支援しているところもある。</p> <p>●関係機関のみでは、重心認定の有無、福祉サービスの把握が難しい。</p> <p>2. 実態把握やニーズ調査について</p> <p>●保護者宛ての調査案を検討。障害福祉サービスの利用状況や保育所、幼稚園、学校等の医療的ケアの状況、病院から退院時の相談先、生活全般での困りごと等について</p>
	令和2年 2月	実態把握等の調査 関係機関より保護者へ調査用紙を送付		<p>●41名配布 26名回答</p> <p>3月に第2回の協議を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症のため、未実施。</p>